

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月1日

事業所名 めばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数が増えた為、活動室(2~3部屋)を分けて活動を実施しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		障害者総合支援法に基づき、職員を配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はなく、平屋建てとなっています。トイレに手すりを配置しています。	肢体不自由の方へのトイレの配慮が必要です。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月、課題検討会を実施し、業務改善に向けての話し合い、振り返りを行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回、保護者向けのアンケートを実施しています。アンケートを参考に、業務改善について把握し、改善へ向けた取り組みを行っています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今後も定期的に公表していきます。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に第三者評価を受審しました。評価結果をもとに話し合いを行い、業務改善に繋がっています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に関するアンケートを実施しています。年間計画を立て、感染症対策を工夫し、事業所内・法人内、外部研修へ参加しています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援専門員や学校、専門職等と連携を図り、子どもと保護者のニーズや課題分析した上で計画を作成しています。	
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で統一したアセスメントツールを使用しています。また、他の発達検査等にも少しずつ取り組んでいます。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者を中心にチーム内で話し合いを行い、月ごとに活動を立案しています。年間の予定表を作成しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		今年は感染症対策を工夫したうえで施設内外の季節の行事や社会体験など、新しい活動を取り入れています。また、活動内容が固定化しないよう定期的にチーム内で見直しを行っています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間や時期に応じて事前にプログラムを作成し、課題に沿った支援を行っています。	

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎日のプログラム内容と子どもの状況に応じて集団の活動と個別の活動を組み合わせ、個別支援計画に基づいた支援を行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当者を中心に、活動の内容や支援の流れ、役割分担等について、事前の確認と情報共有を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に職員間での打ち合わせや振り返りを行っています。また、必要に応じて改善策を検討し、実践に繋げています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画の支援内容が適切に実行されているかを意識しながら支援を行っています。また、それに基づいた記録を取っています。また、成功した支援内容なども記録し、支援が適正かを検討しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画内容について、定期的に本人、保護者と面談を実施し、満足度を確認しながら評価を行っています。関係職員参加のもと、計画の見直しを検討する会議を行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせを行っている	○		基本活動を複数取り入れたプログラムを作成し、固定化されない工夫を行っています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		今年は感染症対策を工夫しながら児童発達支援管理責任者、必要に応じて担当者が出席し、情報共有、交換を行っています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に学校の先生と子どもの様子等について情報交換、共有を行っています。また、緊急時や送迎等の変更等がある場合は連絡を取れる体制を整えています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子どもさんは現在通われていませんが、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時は迅速に対応できるよう職員間で情報共有を行っています。	
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行支援シートを活用し、情報共有を行うようにしています。また、必要に応じて連携を取り、相互理解に努めています。		

関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行支援シートを作成し、保護者や障害福祉サービス事業所への引継ぎ等を行っています。	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今年は感染症拡大防止のため、オンラインで研修を受講しました。児童発達支援等と連携し、事業所内の作業療法士からの助言を受け、連携しています。	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		今年は感染症拡大防止のため、交流の実施はできませんでしたが、例年は同法人の事業所と年2回交流する機会を設けています。	
	②7	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加している	○		管理者が協議会へ参加しています。その内容について職員への周知を行っています。	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		バス送迎時や連絡帳、電話等で伝えています。また、面談等を活用し、情報の共有や課題等について共通理解ができるように努めています。	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		今年は感染症拡大防止のため、専門職員等の研修会の実施はできませんでしたが、質問については書面でやりとりを行いました。また、感染症対策を工夫し、少人数で保護者向けにペアレント・プログラムの研修会を計画し、案内や実施をしています。	
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規程、重要事項説明書の説明を行っています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別面談時以外にも、相談があれば随時行っています。今年は送迎時や電話で実施しています。バス送迎の際の会話についても、気になる点は職員間で共有し、ご家族の困り感に気を付けるよう努めています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現在、父母の会の活動はありませんが、保護者同士が交流できる行事(今年は未実施)を取り入れたり、保護者向けの研修会を実施しています。	

保護者への説明責任	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。また、苦情の内容を職員間で共有し、改善に努めています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の広報誌を年3回、施設の月便りを発行し、行事予定や活動内容などを発信しています。また職員の連絡体制は事業所に掲示しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、職員へ周知を行っています。また、契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		コミュニケーションにおいては、言語聴覚士等の専門職からの指導を受け、子どもの特性に応じ、対応しています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今年は感染症拡大防止のため実施できませんでしたが、例年はイベントや研修、行事等で地域の方々に施設を開放しています。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを整備し、研修を通して職員へ周知を図っています。非常時のマニュアルは事業所内に掲示しており、来客者がいつでも見れるようにしています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回、避難訓練を実施しています。火災・地震・風水害等に合わせて、非常災害計画を作成しています。また、不審者対策訓練と土砂災害訓練を他事業所と一緒に取り組んでいます。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に人権擁護委員会を設置しています。事業所内でも「人権侵害防止チェックリスト」を活用し権利擁護に努めています。また、職員向けに研修も実施しました。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束は行っていませんが、やむを得ず身体拘束を行う際のマニュアルを整備し、適切に対応するための体制を整えています。	

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、食物アレルギーのある子どもさんは通われていませんが、必要に応じて医師の指示書に基づく対応を行っていきます。	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してる	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事例があった場合は、朝礼や回覧等で全職員への周知を行っています。また、集計し、行動の分析を行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年2月1日

事業所名 めばえ

保護者等数（児童数） 23 回収数13 割合 56%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	5			小～高まで体の大きい子ども達がいるのもう少し部屋が広いといい。 ・少し手狭なのではないかと感じます。	・利用者の人数や年齢、身体の成長など状況に応じて児童発達活動室も活用し、活動室を分けて活動しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13					
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13					
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画※1</u> が作成されているか	13					
	⑤	<u>活動プログラム※2</u> が固定化しないよう工夫されているか	11	2				・活動のプログラムが固定化しないよう、職員間で話し合いを行い、新しい活動を今後取り入れていきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	5		参加する機会がない(プログラムされているのでしょうか?)	・今年度はコロナウイルス感染症対策のため、実施できませんでした。今後はまた、他事業所の子どもとの交流会の実施や障がいのない子どもとの交流会の実施に向けて検討していきます。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				いつも送迎時に丁寧に教えていただいています。	・今後も子どもの状況や課題について共通理解が図れるよう、面談や連絡帳、送迎の際に子どもの様子をお伝えしていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1				・今後も面談や電話等を通して育児に関する助言等の支援を行っていきます。

保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	3			コロナのため今はなし。	・今年度はコロナウイルス感染症対策のため交流会が実施できませんでしたが、今後はまた保護者同士が交流できる機会を提供していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2				・今後もご意見を頂いた際は、迅速かつ適切に対応し、子どもや保護者に周知・説明を行っていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1				・情報伝達の漏れなどがないよう今後も子どもや保護者との情報交換を丁寧に行っていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1				
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13					
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12					
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			午後から帰宅までのおやつを出してほしい。帰宅時かなりお腹を空かせています。活動内容によっては不安になることもありますが、親しんだ場所や先生方などに支えられて年々落ち着いて過ごせるようになっていきます。	・今後も安心して通所していただけるように支援を充実していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11	1			回答なし1名 長期休暇時の利用時間が短く仕事をしているため利用できない(開所時間が遅く、帰宅時間が早い)	・休日や長期休暇等の利用開始時間については早めることは厳しいところであり、御理解をお願いします。

-
- ※1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
 - ※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がいの特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。